

第34回 岩手大学ESD銀河セミナー
○ボランティア活動に関するセミナー・シリーズ(1)



ボランティア活動と「サービス・ラーニング」

ーアメリカ及び国際基督教大学の経験からー

講師： 村上 むつ子 氏

(国際基督教大学サービス・ラーニング・プログラム担当講師/
インストラクター)



(講演内容)

近年、ボランティア活動を通じて学びを獲得する「サービス・ラーニング」という教育手法が注目されています。これは、知識を活用して問題を解決する問題解決能力が一段と重視される流れを受けて、社会の現実の問題と向かい合う中で、コミュニケーション力、共感力、倫理性や市民性などを実践的に獲得する教育が指向されているからです。

そうした学びを意識的に追求したものが「サービス・ラーニング」です。このセミナーでは、国際基督教大学サービス・ラーニング・センター講師の村上さんから、アメリカや国際基督教大学での経験を踏まえて、ボランティア活動と「サービス・ラーニング」の違いや「振り返り (reflection)」の意義、その評価方法等についてお話しいただき、参加者で討論を行います。

【日時】： 2010年4月28日(水) 16:30~18:00

【場所】： 岩手大学図書館生涯学習・多目的学習室

【主催】： 大学教育総合センター

【主管】： 大学教育総合センター学生支援部門・環境人材育成プログラム

【対象】： 教職員・学生・一般市民

村上むつ子氏略歴：

上智大学卒業後、シカゴ・トリビューン紙の東京支局に勤務。米国の大学で修士号を取得して、ニュース雑誌「アジアウィーク」の東京特派員として長く報道活動に従事。現在は上智大学や国際基督教大学で講師としてコミュニケーション等を担当するほか、国際基督教大学サービス・ラーニング科目を全て担当する講師として、またプログラム・インストラクターとして、学生のサービス活動の実施や体験を学びにつなげるプロセスをサポートしている。